

テーマ「変革の時代に保健師自身が成長するために」

《日時・場所》 平成 29 年 9 月 30 日（土）10 時から 15 時まで 日本教育会館 8 階第二会議室
《参加者》 147 名（会員 115 人 非会員 32 人）

《内容》

- 1 挨拶 東京都保健師長会 本田 浩子 支部長
全国保健師長会 谷戸 典子 副会長 活動方針の説明
- 2 研究報告「地域包括ケアシステム構築の推進にかかる保健師の役割に関する研究」
報告者 全国保健師長会 研究班（埼玉県狭山保健所担当部長） 齊藤富美代 氏
- 3 講演 「自分を育てるキャリアデザイン」講師 杏林大学保健学部 地域看護学教授 大木幸子 氏
- 4 実践報告「変革の中で気づいたこと」
(1)「地区担当制への転換から」埼玉県所沢市保健センター健康づくり支援課副主幹 松本加代子 氏
(2)「川崎市の取組の報告」神奈川県川崎市中原区役所保健福祉センター地域支援担当課長 瀧真由美 氏
- 5 グループワーク 「困難を乗り越えて成長するために」～自分の保健師としての成長を振り返る～
- 6 まとめ 杏林大学保健学部 地域看護学教授 大木 幸子 氏

変革の時代に戸惑いながらも、時代が変わっても、働く組織が変わっても、地域で住民の健康と生命を守る保健師活動の基本は変わりません。地域の課題解決に向け、住民や他の職種と連携しながら一步ずつ前に進むために、今、私たちが何に気づき、専門職・人間としてどう成長できるのか、改めて考える機会を持ちました。内容を抜粋して報告します。

●講演「自分を育てるキャリアデザイン」

人は皆未熟であり、人との関わりをとおして成長するという基本を確認し、経験学習の3要素を学びました。特にエンジョイメントは人材育成や私たちの成長にとって、新たなキーワードでした。

次に、保健師として期待される実践技術は、「個人や家族への支援」、「集団への支援」、「事業化・施策化」と「それぞれを連動させて地域への支援を行う保健師の特徴的な活動」に

ついて整理されました。行政の

人材担当保健師への調査結果から、新任期、中堅期に期待される実践技術と実際に獲得している技術に開きがあり、獲得に時間が必要になっていること、集団への支援力量が低下している傾向が話されました。日頃の人材育成の（もやっとした）悩みがすっきりしました。

最後に、ストレッチについて、健康格差や森永ヒ素ミルク事件、個別支援から地域全体に展開させる保健師の援助技術の語りがありました。講師が若かった頃に受けた先輩からの働きかけを織り交ぜながらの講義で、参加者が様々な話に心をゆり動かされ、公衆衛生を基盤とした保健師活動の原点に立返る時間となりました。

経験から学ぶ3要素

- *リフレクション：行動を振り返り知識・スキルを身につける
- *エンジョイメント：仕事のやりがいや意義を見つける
- *ストレッチ：問題意識をもって新規性のある課題に取り組む。

松尾睦 職場が生きる人が育つ体験学習入門、2014



杏林大学 大木幸子 先生

●実践報告は、長年の業務分担制から地域担当制に組織替えをした2自治体からでした。

組織替えと同時に住民と地区診断に取り組んだ所沢市からは、住民や関係者との関わりから「大変だけど地区担当制でやっていきたい。」という気持ちがある。一方で、地区診断をどう地区活動に生かすのか、日々の事業や個別支援を抱え地域に入り込む活動に踏み切れないことなど率直な課題も語られました。保健師一人一人と意見交換をしながら丁寧に活動を進めている報告でした。



所沢市 松本加代子 保健師

保健師等による個別支援と地域づくりを一体的に

推進する「地域みまもり支援センター」を整備した川崎市からは、地区への理解が深まり始めていることやケースマネジメント力が求められていることなどが語られました。いずれも、地区担当制の経験者が少なく、活動しながらその意義を考えていました。



川崎市 瀧真由美 保健師



●グループワーク

支部や所属の異なる保健師が集まり、現場での困難にどのように向き合っているかを「massage(アイメッセージ)」で語り、「それっていいね」等の言葉でフィードバックするルールに沿ってワークしました。講師からは、グループでの集中した語り合いを誉められ、参加者の活気あふれる中で終了時間になりました。



●アンケートから

- ・短い時間にギュギュっと内容が詰まった研修会でした。自分のPHN魂を揺さぶられる内容で来てよかったです。
- ・職場を離れ、他の自治体の方と研鑽を積むことは有意義だと感じました。
- ・保健師活動の基盤となる大切な視点を、講義、GWを通して改めて理解を深めることができました。
- ・PHNのパワー、厚さ、楽しさを再認識しました。グループワークもあっという間に有意義な時間でした。
- ・先輩方のパワーに圧倒されましたが来てよかったです。